

理学部卒業生修了生アンケート（平成 20 年度実施）

理学部大学点検評価委員会

I. まとめ

平成 17 年度卒業生・修了生 324 名（卒業生 265 名・修了生 59 名）を対象に、平成 21 年 2 月 12 日から 3 月 27 日にかけてアンケートを実施した。アンケート調査票発送件数は 227 であり、34 名から回答を得た。回収率は 14.98%である。昨年度は、平成 15 年に施行された個人情報の保護に関する法律の影響で前年度の半分以下である 21 名しか回収できなかったが、本年度はやや増えたもののやはり回収率は低い。回収できた回答者 34 名の所属は次である：数理科学コース(4)、情報科学コース(7)、物質基礎科学コース(6)、物質変換科学コース(7)、生体機能物質工学コース(0)、生物科学コース(4)、地球史環境科学コース(4)、防災科学コース(1)、数学科(0)、物理学科(0)、化学科(0)、生物学科(0)、地学科(0)、情報科学科(1)

【全般的な質問】

高知大学での勉学や生活で満足できたものは、「友人との出会い」が一番多く 91%が選択している。昨年最も多かった「研究室での卒研やゼミ」がその次に続き (67%)、「先生との出会い」(45%)、「課外活動」(39%)、「親からの自立」(30%) と続き、「授業」(24%) が最も少なかった。また、満足できなかったものとしても「授業」(40%) が一番多かった。毎年満足できなかったものとして「授業」をあげているものが多く、今後どのような点が満足できなかったかの調査が必要になるだろう。ただ、満足できなかったものについては 34 人中回答したのは 20 人であり、大学生活で不満が少なかったものが多いことも確かである。共通教育については、60%近くが「満足できた」または「満足できる授業が多かった」と回答しており、多くのものが満足しているようである。

教育研究施設（学習環境）については、62%以上が「満足できた」または「ほぼ満足できた」と回答している。理学部は 20 年度に 2 号館が、21 年度に 1 号館が改修になり、当時と比べ大幅に環境がよくなっており、今後はさらにこの数字が伸びるものと期待している。

就職支援活動については、「満足できた」または「ほぼ満足できた」と回答しているものが 43%であった。ボランティア活動に参加した者は、一昨年度は多かったが、昨年度 10%と減っている。今年は 30%とやや増えているようである。しかも参加したもの 90%が、その活動にほぼ満足している。

【コース分属】

第 1 希望のコースに分属できたものは 97%であった。現在は全員が希望のコースに分属できる制度になり、この質問もほぼ意味がなくなりつつある。転学部・転学科・転コースについては、94%が申請をしたことがないと回答している。

【シラバス】

理学部の授業シラバスについては、回答者の 88%が「役立った」または「役立つこともあった」と答えおり、95%が授業はシラバスの授業計画に沿って「実施されていた」または「ほぼ実施されていた」と評価している。これは例年とほぼ同様の結果になっている。

【受講科目の感想】

理学部開設授業（講義、実験、演習、セミナー）で満足できた授業の数は、40 以上(9%)、30－40(16%)、20－30(41%)、10－20(28%)、10 以下(6%) という分布で、昨年度と比べ満足できた授業数が減っている。満足した理由としては「親切で丁寧な授業であった」が 53%で最も多く、昨年度最も多かった「専門分野の実力がついた」が 50%とそれに続いている。他方、満足できなかった授業の数は、40 以上(0%)、30－40(13%)、20－30(19%)、10－20(26%)、10 以下(42%) と昨年より増えているが、一昨年と比べると減っている。満足しなかった理由として「不親切でわかり難い授業だった」が 52%と最も多く、満足できた理由と矛盾するような結果が出ている。また「一方的な押し付け授業だった」(35%)が相変わらず多かった。さらに、「実力がつかなかった」と「教員の熱意が感じられなかった」がともに 32%と多かった。

【標準履修モデル】

授業科目については、授業内容や難易度において適切に「配置されていた」と「概ね配置されていた」は、基礎教育科目と専門コア科目で 89%、専門コア教育科目と専門専攻教育科目で 90%を占め、昨年同様の結果になっている。また、各教育コースの教育目標は標準履修モデルと「合致していた」または「概ね合致していた」が 96%であった。

【専門科目への要望】

「より高度な授業内容を実施してほしい」という要望に「全くそのとおり」または「概ねそのとおり」と回答した者が 65%と昨年同様多くなっており、さらに「難しい授業が多すぎるので、もう少しレベルを下げてほしい」と回答した者は少なく、より高度な授業を望む声が多いようである。実験系分野では、「最前線の研究成果や手法を学ぶために、実験実習の時間を増やしてほしい」という要望が多く、「サークル活動やアルバイトとぶつかるので、実験実習等の授業時間を軽減してほしい」は、わずか 3%である。また、「社会に出て役立つことを授業に盛り込んでほしい」という要望も例年通り多い(84%)。

【成績評価】

成績評価の方法については、80%が「成績評価は適切に行われた」または「概ね適切であった」と回答しているが、昨年の 95%と比べると若干下がっている。

【卒業研究】

卒業研究は 94%が必修にすべきと答えており、現在副専攻でジェネラルを選択する学生に対し卒業研究を課していないコースが多い中で、今後検討すべき結果といえると思う。

【授業改革】

理学部の各学科が開設している授業科目数と内容については、「適切である」または「概ね適切である」があわせて 85%にのぼる。

【アドバイザー教員制度】

アドバイザー教員の指導・支援については81%が「適切であった」または「概ね適切であった」と回答しており、学生の望む形の制度になっていることがわかる。

Ⅱ. 集計結果

アンケート実施期間：平成21年2月12日～3月27日

平成17年度卒業生・修了生数324名（卒業生265名 修了生59名）

アンケート調査票発送件数227（卒業生175 修了生52）

アンケート調査票回収件数34 回収率14.98%

- ・質問項目の（ ）内の数字は回答者数である。
- ・選択肢A, B, C, … の（ ）内の数字は回答者数に対する選択肢の割合である。複数回答については、合計100%にはならない。また、丸目の誤差もある。

【所属】

- あなたの所属していたコース（または学科）を下記より選んでください。(34)
A. 数理科学コース (12%) B. 情報科学コース (21%) C. 物質基礎科学コース (18%)
D. 物質変換科学コース (21%) E. 生体機能物質工学コース (0%)
F. 生物科学コース (12%) G. 地球史環境科学コース (12%) H. 防災科学コース (3%)
I. 数学科 (0%) J. 物理学科 (0%) K. 化学科 (0%) L. 生物学科 (0%)
M. 地学科 (0%) N. 情報科学科 (3%)

【全般的な質問】

- 高知大学での勉学や生活で満足できたものを下記より選んでください。（複数回答可）(33)
A. 授業 (24%) B. 研究室での卒研やゼミ (67%) C. 先生との出会い (45%)
D. 友人との出会い (91%) E. 課外活動 (39%) F. 親からの自立 (30%)
G. その他 (3%)
- 高知大学での勉学や生活で満足できなかったものを下記より選んでください。（複数回答可）(20)
A. 授業 (40%) B. 研究室での卒研やゼミ (25%) C. 先生とのトラブル (10%)
D. 友人とのトラブル (5%) E. 課外活動 (30%) F. 親からの自立 (15%)
G. その他 (10%)
 - 施設の利用時間の制限

4. 共通教育（一般教育）の授業は満足できるものでしたか。(34)

- A. 満足できた (18%) B. 満足できる授業が多かった (41%)
C. 満足できる授業が少なかった (41%) D. 満足できなかった (0%)

ご意見があればお書きください。

- 就職に対して備える授業が無かった。
- 知識として残っているという実感は今はもうないが、不満感もないので、役に立っているかもしれない。
- 編入学したものは、そのものだけで受講させてもらいたい。

5. 教育研究施設（学習環境）は満足できるものでしたか。(34)

- A. 満足できた (18%) B. ほぼ満足できた (44%)
C. あまり満足できなかった (32%) D. 満足できなかった (6%)

ご意見があればお書きください。

- 冷暖房が無かった。
- 研究設備があまり充実していなかった。
- 実験室に空調が無く、夏は非常に暑かった。
- 他大学と比べようがないが、メディ森はきれいで温かく涼しかったし、ネットをつなげたし、メディ森の存在が大きい。

6. 高知大学の就職支援活動は満足できるものでしたか。(30)

- A. 満足できた (13%) B. ほぼ満足できた (30%)
C. あまり満足できなかった (40%) D. 満足できなかった (17%)

ご意見があればお書きください。

- ほとんど利用しなかったので分かりません。
- あまり活用しませんでした。
- ゼミ内で就職の話は無かった。人文学部はそういうのがあったと聞いた。
- いつまでに何をしなければ（情報収集のため）いけなかったのか1年時から欲しかった。

7. 在学中に高知大学公認あるいは非公認のボランティア活動に参加したことがありますか。(33)

- A. ある (30%) B. ない (70%)

8. 「ある」と答えた方に質問します。その活動は満足いくものでしたか。(10)

- A. 満足できた (50%) B. ほぼ満足できた (40%)
C. あまり満足できなかった (0%) D. 満足できなかった (10%)

意見があればお書きください。

続いて理学部に関する質問です。

【コース分属】

9. 質問 9, 10, 11 は平成 10 年度以降の入学生用です。コース分属は希望どおりでしたか。(29)
- A. 第 1 希望コースに分属した (97%) B. 第 2 希望コースに分属した (3%)
- 第 3 希望でした。
10. あなたは転学部・転学科・転コースの申請をしたことがありますか。(32)
- A. はい (6%) B. いいえ (94%)
11. あると答えた方のみに質問します。申請は受け入れられましたか。(3)
- A. はい (67%) B. いいえ (33%)

【シラバス】

12. 理学部の授業シラバスについてお聞きします。シラバスは授業選択に役立ちましたか。(34)
- A. 役立った (35%) B. 役立つこともあった (53%)
- C. あまり役立たなかった (9%) D. 役立たなかった (3%)
13. 授業はシラバスの授業計画に沿って実施されていましたか。(34)
- A. 実施されていた (12%) B. ほぼ実施されていた (85%)
- C. 余り実施されていなかった (3%) D. 実施されていなかった (0%)

【受講科目の感想】

14. あなたが在学期間中に受講した理学部開設授業（講義、実験、演習、セミナー）の印象をお聞きします。満足できた授業の数はおおよそいくつでしたか。(32)
- A. 40 以上 (9%) B. 30－40 (16%) C. 20－30 (41%) D. 10－20 (28%)
- E. 10 以下 (6%)
15. 満足した理由を下記より選んでください。(複数回答可) (32)
- A. 専門分野の実力がついた (50%) B. 親切で丁寧な授業であった (53%)
- C. 教材を工夫していた (19%) D. 教員の熱意が感じられた (47%)
- E. 授業が一方的でなかった (25%) F. 授業内容が斬新だった (16%)
- G. その他（具体的に書いてください） (6%)
- 夢中になれた。学びがいを感じた。今思い返しても面白かった。自分のレベルに合った授業進行だったからかも。先生は不満かもしれないが。

16. 理学部開設授業（講義，実験，演習，セミナー）のうち，満足できなかった授業の数はおよそいくつでしたか。(31)
- A. 40 以上 (0%) B. 30－40 (13%) C. 20－30 (19%) D. 10－20 (26%)
E. 10 以下 (42%)
17. 満足しなかった理由を下記より選んでください。(複数回答可) (31)
- A. 実力がつかなかった (32%) B. 不親切でわかり難い授業だった (52%)
C. 教材の工夫が見られなかった (23%) D. 教員の熱意が感じられなかった (32%)
E. 一方的な押し付け授業だった (35%) F. 内容が古すぎた (10%)
G. 内容は新しいが断片的だった (19%)
H. その他（具体的に書いてください） (3%)
- 自分のやる気が少なかった。
 - 卒業のための単位取得と割り切った時点で、さらなる理解追及を放棄したから。

【標準履修モデル】

18. 理学部は授業科目を基礎教育科目（現，基礎科目），専門コア教育科目（現，専門科目のコア科目），専門専攻教育科目（現，専門科目）に大別し，カリキュラムを段階的に学べるように工夫しました。基礎教育科目（〇〇学概論等）と専門コア科目（××学 C）は，授業内容や難易度において適切に配置されていたか。(34)
- A. 配置されていた (21%) B. 概ね配置されていた (68%)
C. 余り配置されていなかった (12%) D. 配置されていなかった (0%)
19. 専門コア教育科目と専門専攻教育科目は，授業内容や難易度において適切に配置されていたか。(30)
- A. 配置されていた (27%) B. 概ね配置されていた (63%)
C. 余り配置されていなかった (10%) D. 配置されていなかった (0%)
20. 各教育コースは独自の教育目標を掲げています（理学部ホームページ等を参照してください）。この教育目標は標準履修モデルと合致していましたか。(28)
- A. 合致していた (18%) B. 概ね合致していた (68%)
C. 余り合致してなかった (14%) D. 合致してなかった (0%)
- 覚えていない。

【専門科目への要望】

21. 「より高度な授業内容を実施してほしい」という要望に対するあなたの意見をお聞きます。(32)

- A. 全くそのとおりである (31%) B. 概ねそのとおりである (34%)
C. 余りそう思わない (34%) D. 全く思わない (0%)

- 科目による。

22. 「難しい授業が多すぎるので、もう少しレベルを下げしてほしい」という要望に対するあなたの意見をお聞きます。(32)

- A. 全くそのとおりである (3%) B. 概ねそのとおりである (13%)
C. 余りそう思わない (56%) D. 全く思わない (28%)

- 下げるものは授業内容のレベルではなく、先生の言葉づかいレベル。先生は不満かも知れないが。

23. 「最前線の研究成果や手法を学ぶために、実験実習の時間を増やしてほしい」という要望に対するあなたの意見をお聞きます。(31)

- A. 全くそのとおりである (45%) B. 概ねそのとおりである (32%)
C. 余りそう思わない (16%) D. 全く思わない (6%)

24. 「サークル活動やアルバイトとぶつかるので、実験実習等の授業時間を軽減してほしい」という要望に対するあなたの意見をお聞きます。(32)

- A. 全くそのとおりである (0%) B. 概ねそのとおりである (3%)
C. 余りそう思わない (38%) D. 全く思わない (59%)

25. 「社会に出て役立つことを授業に盛り込んでほしい」という要望に対するあなたの意見をお聞きます。(32)

- A. 全くそのとおりである (56%) B. 概ねそのとおりである (28%)
C. 余りそう思わない (9%) D. 全く思わない (6%)

- その授業の内容によると思います。
- 何が社会で役立つかは、誰にもわからないけれども…。そこを無視して話を進めるのならば、Aで良いのでは。

【成績評価】

26. これまで受講した授業について、成績評価の方法は適切であったと思いますか。(34)

- A. 適切であった (24%) B. 概ね適切であった (56%)
C. 適切でない授業もあった (21%) D. 適切でない授業がたくさんあった (0%)

27. 成績評点は自分の予想と合っていましたか(成績評価が適切に行われたと思いますか)。(34)

- A. 適切であった (18%) B. 概ね適切であった (71%)

- C. 適切でない授業もあった (12%) D. 適切でない授業がたくさんあった (0%)

【卒業研究】

28. 現在、卒業研究は必修ですが、これを選択必修あるいは選択にしてはどうかという提案があります。これについてあなたの意見をお聞きます。(33)
- A. 必修がよい (94%) B. 専門科目の選択必修がよい (6%)
- C. 選択がよい (0%) D. 科目をなくすべき (0%)
- 先生の負担が小さくなるのなら、どうぞ。大変革のアンケートにしては扱いが軽いです。卒論廃止の方向性の意図は何ですか？

【授業改革】

29. 理学部の各学科が開設している授業科目数と内容は適切だと思いますか。(32)
- A. 適切である (19%) B. 概ね適切である (66%)
- C. 足りない (16%) D. 多すぎる (0%)
30. CあるいはDを選択した人にお聞きます。どんな授業を増やせば(減らせば)よいと思いますか。具体的に書いてください。
- 情報コースにおいては、計算機科学など基礎理論系のものが多いが、プログラミングやネットワーク、プロトコル、データベース技術など実用よりの内容の授業を充実してほしいと思います。
 - 各分野一つの講義しかない為、複数から選択できるようにした方がよい。
 - 化学専攻(物質変換コース)だったが、物理化学の授業数が少なく、内容もあまりにも不十分だった。有機化学、無機、物理化学のボリューム、レベルのバランスをとってほしい。有機以外は実力のつく授業ではなかった。
 - 実験、実習、各分野の専門C、専攻など

【アドバイザー教員制度】

31. アドバイザー教員の指導・支援は適切でしたか。(33)
- A. 適切であった (42%) B. 概ね適切であった (39%)
- C. 余り適切でなかった (15%) D. 適切でなかった (3%)
32. 理学部の教育や高知大学の教育全般について、意見があれば書いてください。
- 人にもよりますが、他の分野の講義なども取りやすい仕組みがもう少しあればいいのと思います。
 - 卒業研究では、提出した課題をもとに教員らと議論することや、研究内容を人に説明する訓練をする機会が少なかったように思います。議論する、説明をする能力は社会に出て、重要な能力だと思います。知識を与えるだけでなく、このよう

な表現能力を鍛練できる機会をもっと重視するべきだと思います。

- 専門分野の知識以外にも、知識を得られる講義があってもよかったと思います。
(他の専門知識、物理、化学等)
- 学部再編の折からどんなことをやっているかとても知りたいのですが、研究室が残っていないらしく近より難しく思っています。何か発表会や研究会をご紹介いただければと思っています。近年、学生活動が時間的に制約されていると耳にしました。どうこうということは無いのですが、さみしく思っています。
- 卒業研究は今までに学んだことの集大成なので、絶対必修が良いと思う。自分はアルバイトをしないと生活費が無かったので、課外はほとんどアルバイトをしていたが、可能な限り実験はしたかった。より、多くの実験機器を取り扱えるようになりたかった。NMRは学部生でも取り扱えるようにしたほうがよい。
- 卒業後、HPをたまに拝見しますが、情報量を少なすぎるように感じます。更新頻度も少ないです。(たとえば変換コースは、以前見たところ2004年でとまっていました。)
- 授業が先生によってまったく違っていた。分かりやすい先生もいれば、ぼそぼそ言って全然声が聞こえない先生など、色々な先生がいた。授業方法について、もう少し生徒のことを考えて進められるように考えるよう促してほしいと思う。あと、実験の授業で使用していた実験室はとても汚かった。実験器具も古いものが多かった。アドバイザー教官という制度がせっかくあるので、月に一回面談の時間をつくるなどして、学生と教員の交流できる機会を増やせばいいと思う。自発的に教員のところに行くということは大切だが、教員のあいている時間が分からなかったり、とくに用事もないので行けないという学生もいると思う。教員と話すことによって、大学生活がより有意義なものとなる学生も多くなるはず。
- 社会に出て、この授業、研究がどのように役立つのか、これを理解しないまま受ける。また教えるようなあったらいけないと思う。会社は発表のしかた、研究の進め方、もちろん専門知識はマスターされて当然で進んでいる。高知大学が残るためには、社会で使える人を育てることが大切ではないか？(もちろん人間としても…)そうすれば企業からの信頼もあつくなり、協力(お金を含め)を得られると思う。どの大学もしていないが、もっと職員が企業に出て、必要なことをリサーチするくらいのがあってもよいと思う。当たり前だけどどの会社も同じで、この景気と同じで何もしなければ、つぶれます。
- 全般的に、先生方の授業には満足しています。実験、実習科目では、知らない人とも話せる関係となり、充実していたように思います。アンケート最後ページに卒論の選択化についてありましたが、他大学薬学部では論文ではなく「卒業ペーパー試験」という形をとっているところもあるようです。研究施設レベルや学生の学力レベル、先生方の指導熱意らを考慮し、卒論内容のしょぼさにあまりにもがっかりするようでしたら、卒論を選択化したい気持ちは分かります。教育ポリ

シーを取るか、研究効率を取るかなど先生方の主張があるでしょうし、この研究室（＝先生）では留年生が出たりなど大学運営、経営の立場、視点からの主張もあるでしょうし、ゼミ内コミュニケーションを面倒に思う学生も必ずいるでしょうし、多くの議論が必要な事柄だと思います。高知大学の体質が表面化してしまうことだと思うので慎重に進めてほしいなと思います。自分の卒論体験談としては、知らない人にEメールをしたり、学外研究機関の偉い人を見たり、企業さんに研修に行ったり、先輩と仲良くなったり、先生とのかけひきがあったり、などなど、アルバイトやサークルをしていなかった自分にとってはあまりにも濃い思い出として残っています。

- 他大学へ進学した際に、知識レベルの不足がいなめない。教員によって、知人の教科書に固執する、過去問通りのテスト etc… 無機、分析化学の実力がつかなかった。また、入試で数学なしや単科のみのため、多科目や数学、英語の知識がついてない人が多い。その人たちをいかに高め、レベルを4年間で上げるかを本気で考えないといけないと思う。それは、就職先や進学先を見れば分かるにはないだろうか。生き残りをかけていく中で、高知大はこれが強い、とカラーを意識する前に、入試で基礎学力を見切れていないので、どこがダメでフォローをすればよいのか、など、基礎をしっかりしつけないといけないのでは？
- 僕は高知大、大学院ともに入学、卒業できてよかったです。この思いでは一生きえることは無いでしょう。
- せっかく専門的なことをしているのなら、それを生かせるような就職ができる大学がもう少し、就職に対しての道を切り開いてくれたり手助けをしてくれたらどうかと思います。私は理学部でしたが、周りや私も全く関係ない道に進んでいます。しかし、大学に入ったころから、この勉強をしたらこういう関連の道に進めるとか、こういう生かせる職があるとか教えてくれたり、その職につくためにはどういう勉強をしたり、資格をとったり等、もう少し協力してくれたらと思います。高大はただ生徒を卒業させればいいという感じに見えますが、大学はこれからの人生の道を決めるために行くところなのだから、もう少し生徒に対して、この大学のこの学部、学科を出た意味があるような人生を送れるように、協力してほしいと思います。